

(様式3)

事業所名 グループホームひだまりの里さが

目標達成計画

作成日: 令和 4年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	コロナ禍において、食事の提供に関して、一から調理するのではなく、調理品での対応に変更している。ご利用者と一緒に食事を楽しめる工夫をしたい。	新型コロナ感染予防をしながらも、ご利用者と一緒に楽しめるおやつ作りや食事作りをして、お楽しみ会を定期的を実施する。	毎月の行事を企画する際に、お楽しみ食事会やおやつ会を入れる。ホームリーダー会議にて、職員やご利用者の声を反映させる。	3ヶ月
2	19	コロナ禍において、ご家族との面会に制限があり、書面での情報に偏ってしまい、ご家族と直接お話できないことにより、ご家族の気持ちに寄り添えない。	管理者、リーダー、ケアマネージャーが、ご家族の事情に合わせてご利用者の状態や支援の実施状況について、直接お話できる機会を増やす。	介護計画を見直すカンファレンスの際、同席していただけるようご連絡する。また、認定調査時にもなるべく同席していただけるように連絡をする。面会制限がない時には、面会のご案内をして、ケアマネージャーと話せるように都合を合わせる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。